

エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置（Epsilon 5）利用規程

- ・ X線発生装置の予約は、サイボーズ予約システムから行なう。研究室名、使用者名、使用備品などを明記する。
- ・ 液体窒素がないと本装置は動かない。液体窒素の補充は中井研究室の機器担当者に依頼すること。
- ・ 使用後は用意されたノートに使用日時、使用時間、研究室名、使用者名、使用備品、試料名、また何か気が付いたことがあれば備考に書き込む。ヘリウムガスの使用時間を明記すること。また翌日までに使用記録を中井研究室まで提出すること。
- ・ 使用時の課金は 1 回 500 円とし、ヘリウムガスの使用時間に応じてガス代の請求を行う。また装置部品等の故障により、高額のコストが発生した場合には、使用時間に応じて修理費の一部を分担していただく可能性もある。
- ・ 使用時は常にフィルムバッジを携帯し、被爆に関しては細心の注意を払うこと。
- ・ 各研究室に利用責任者を置くこと。利用責任者は使用法に精通していること。年度初めに利用責任者として登録する。
- ・ 利用者は各研究室の利用責任者もしくは装置担当者に講習を受けること。
- ・ 液体試料または粉末試料など、装置を汚染する恐れがあるサンプルを測定する場合は、利用責任者もしくは装置担当者に相談すること。
- ・ 備品については基本的に自由に使用してよいが、使用後の片付けを徹底し、大切に使うこと。備品に絶対に傷つけたりなくしたりしないこと。
- ・ サンプルホルダー、サンプル用トレイは持ち出さないこと。
- ・ トラブルがあれば利用責任者が迅速に対処すること。対処できない場合は中井研究室まで連絡すること。